

平成 26 年 5 月 29 日

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 352 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・
グレートコンシューマー株式ファンドⅡ
豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）／
通貨セレクト・コース（毎月分配型）

当社は、平成 26 年 6 月 27 日に「通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレート
コンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・リアル・コース（毎
月分配型）／通貨セレクト・コース（毎月分配型）」の設定と運用開始を予定しておりますので、
お知らせいたします。概要は下記のとおりです。なお、下記内容は変更される場合があります。

記

1. ファンドの特色

① 新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の企業の
株式を厳選して投資します。

② 株式の運用は、ミレーアセット・グローバル・インベスト
メンツ(米国)エルエルシーが行ないます。

③ 為替取引を活用します。

○ 当ファンドには次の3つのコースがあり、原資産通貨売り／対象通貨買いの為替
取引を行ないます。

※原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。



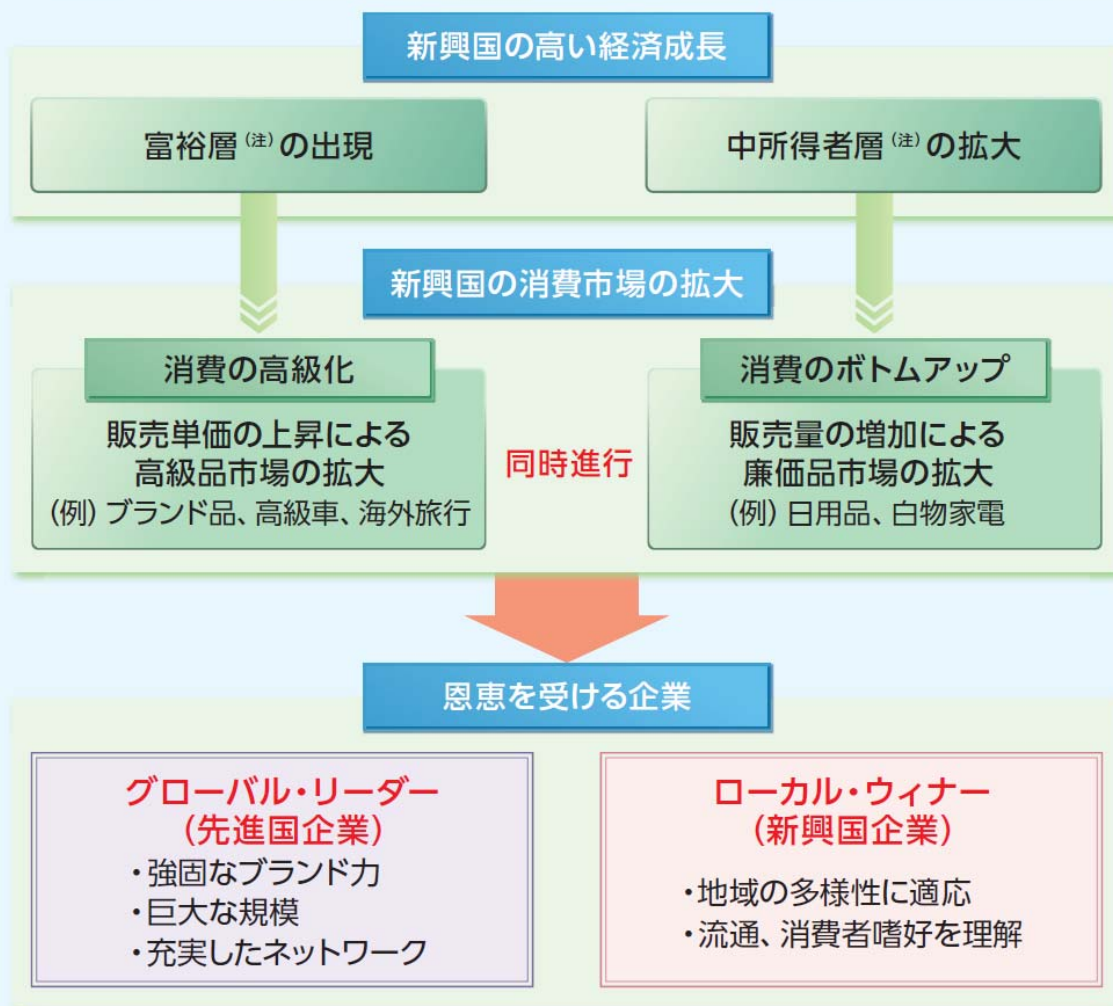
(注)3つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

④ 毎月19日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、
収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。



新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の企業の株式を厳選して投資します。

銘柄選定のポイント(イメージ)



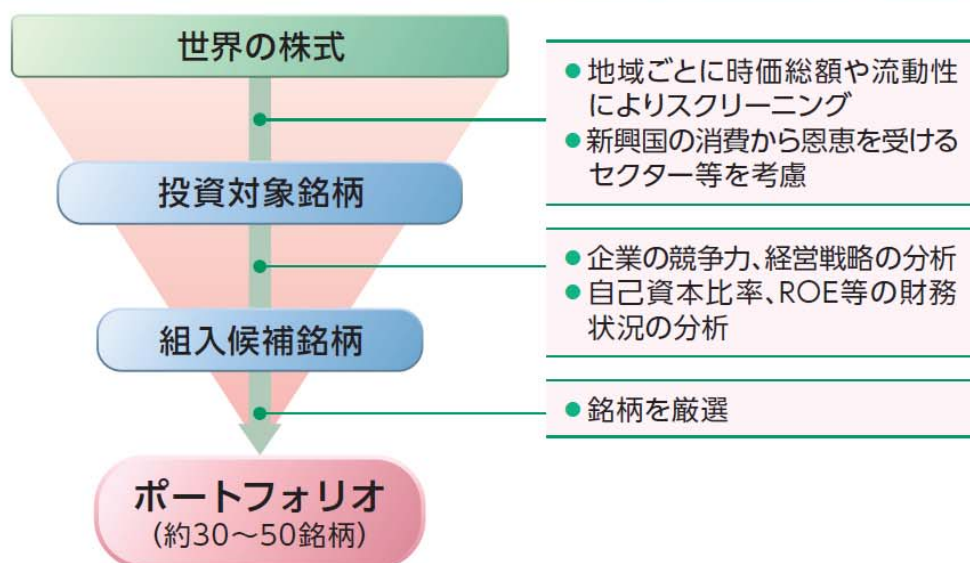
(注) 新興国における富裕層、中所得者層を指します。

※上記はイメージであり、必ずしも上記のとおりになるとは限りません。

ポートフォリオの構築にあたっては、以下の点に留意します。

- 世界の株式の中から、時価総額や流動性および新興国の消費から恩恵を受けるセクター等を考慮し、投資対象銘柄を選定します。
- 投資対象銘柄の中から、企業の競争力、経営戦略、財務状況等の分析を通じて組入候補銘柄を選定します。
- 組入候補銘柄の中から銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。

ポートフォリオ構築のイメージ



株式の運用は、ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ(米国)エルエルシーが行ないます。

- ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ(米国)エルエルシーは、ミレーアセット・グローバル・インベストメンツの米国の関係会社です。

ミレーアセット・グローバル・インベストメンツについて

- ミレーアセット・グローバル・インベストメンツは、1997年に設立された韓国の運用会社です。
- 韓国の公募投資信託において最大級の資産残高を有します。
- 本社である「ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ(拠点:ソウル)」の他に、全世界の7拠点(米国・ブラジル・カナダ・中国・香港・インド・台湾)(平成26年3月末現在)で運用・調査を行なっています。






為替取引を活用します。

- 当ファンドには次の3つのコースがあり、原資産通貨売り／対象通貨買いの為替取引を行ないます。

※原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。

※一部の通貨について、為替取引の手段がない、あるいは、取引コストが過大と判断される際には、為替取引を行なわない場合があります。

コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
 豪ドル・コース	原資産通貨売り／豪ドル買い	豪ドル
 ブラジル・リアル・コース	原資産通貨売り／ブラジル・リアル買い	ブラジル・リアル
 通貨セレクト・コース	原資産通貨売り／選定通貨買い	選定通貨

- 3つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

- 各コースでは、保有資産について為替取引を行ないます。
これにより、「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)／コスト(金利差相当分の費用)」が生じます。
- 各コースでは、為替取引の対象通貨の対円レートの上昇(円安)／下落(円高)により、為替差益／為替差損が生じます。
- 「通貨セレクト・コース」において、選定通貨とは、以下の[通貨の運用方針]により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

[通貨の運用方針]

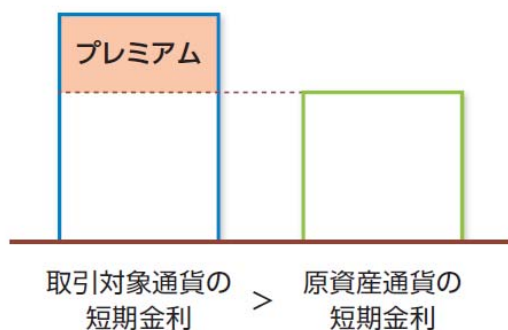
- 原則として、「シティ世界国債インデックス」および「JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット ブロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。
※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。
- 選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- 選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)／コスト(金利差相当分の費用)について

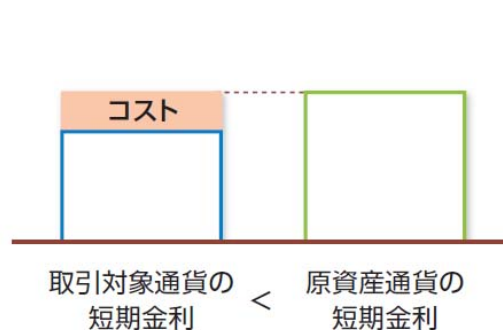
- 為替取引の対象通貨の短期金利が、原資産通貨の短期金利よりも高い場合、「プレミアム(金利差相当分の収益)」が期待できます。
- 為替取引の対象通貨の短期金利が、原資産通貨の短期金利よりも低い場合、「コスト(金利差相当分の費用)」が生じます。

$$\begin{array}{ccc} \text{プレミアム／コスト} & & \\ \text{(金利差相当分の収益／費用)} & \doteq & \text{取引対象通貨の短期金利} \\ & & \begin{array}{l} \blacklozenge \text{豪ドル} \\ \blacklozenge \text{ブラジル・レアル} \\ \blacklozenge \text{選定通貨} \end{array} \\ & & - \\ & & \text{原資産通貨の} \\ & & \text{短期金利} \end{array}$$

● プレミアムが期待できるケース



● コストが生じるケース



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。

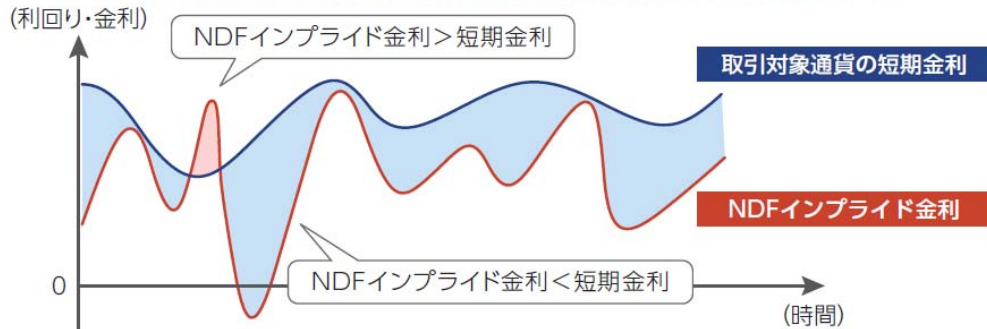
※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

※取引対象通貨が新興国通貨の場合、為替取引を行なう際にNDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引を利用することがあります。NDF取引を用いて為替取引を行なう際、プレミアム／コストは、需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

NDF取引とは

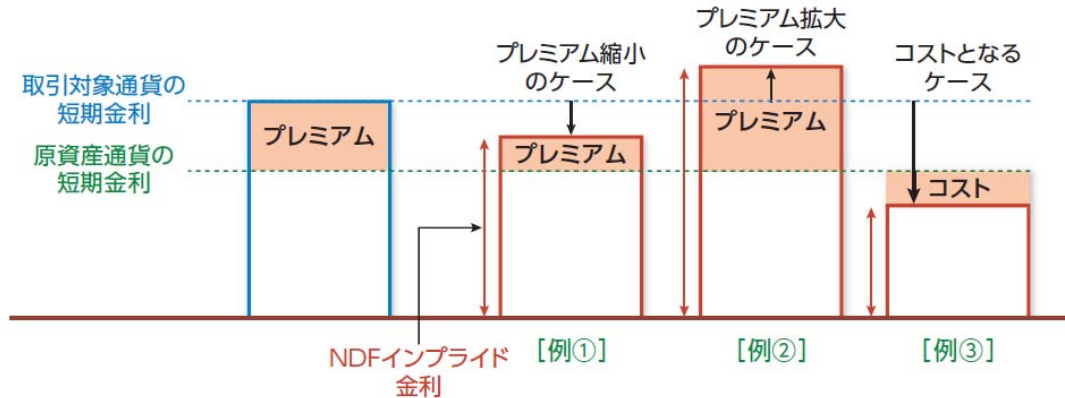
- 取引対象通貨を用いた受け渡しは行わず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き(裁定)が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、**取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。**

NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



NDFインプライド金利の変動の影響

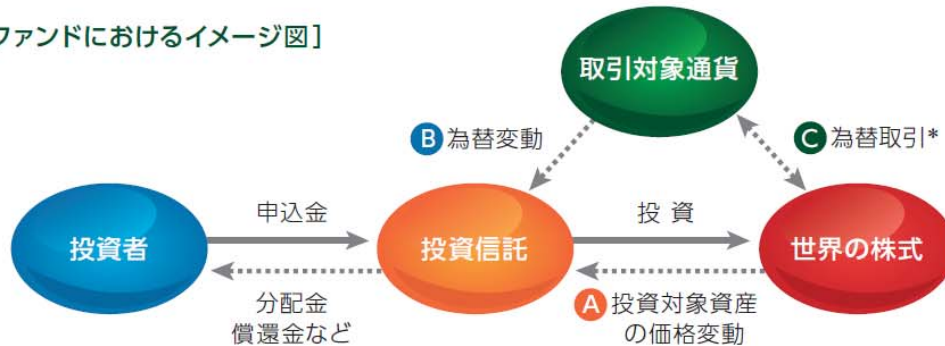
- 市場参加者の通貨上昇(下落)期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く(高く)なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く(高く)なると、**為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)**が縮小[例①](拡大[例②])し、場合によっては**為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)**となるケース[例③]もあります。



通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

【当ファンドにおけるイメージ図】



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

	A	B	(注) C
収益の源泉	世界の株式の配当、 値上がり/値下がり	為替差益/差損	為替取引による プレミアム/コスト (金利差相当分の収益/費用)
収益を得られる ケース	株価の上昇、配当収入	・円に対して取引対象 通貨高 為替差益の発生	取引対象 原資産 通貨の > 通貨の 短期金利 短期金利 プレミアム (金利差相当分の収益) の発生
損失や コストが 発生する ケース	株価の下落 ・発行企業の経営不安、 倒産等	・円に対して取引対象 通貨安 為替差損の発生	コスト (金利差相当分の費用) の発生 取引対象 原資産 通貨の < 通貨の 短期金利 短期金利

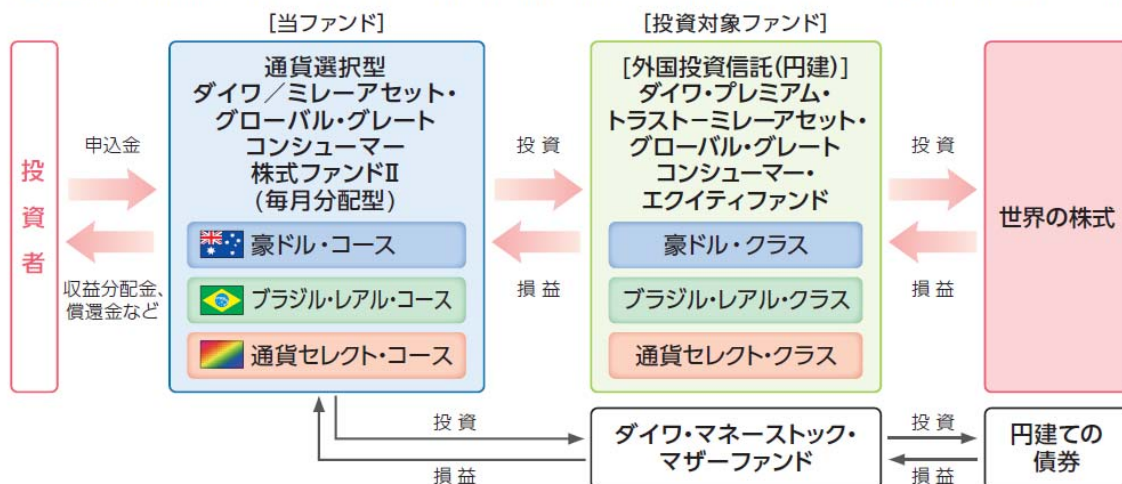
(注) 為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。

NDF取引を用いて為替取引を行なう際、為替取引によるプレミアム/コスト(金利差相当分の収益/費用)は、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

ファンドの仕組み

- ◆当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- ◆外国投資信託の受益証券を通じて、世界の株式に投資し、保有資産について為替取引を行いません。



※3つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

- 当ファンドは、通常の状態では、投資対象とする外国投資信託への投資割合を高位に維持することを基本とします。
- 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1.～3.の運用が行なわれないことがあります。



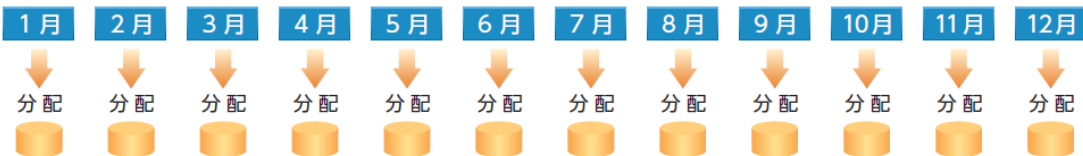
毎月19日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第1計算期間は、平成26年9月19日(休業日の場合翌営業日)までとします。

[分配方針]

- 1 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- 2 原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

収益分配のイメージ



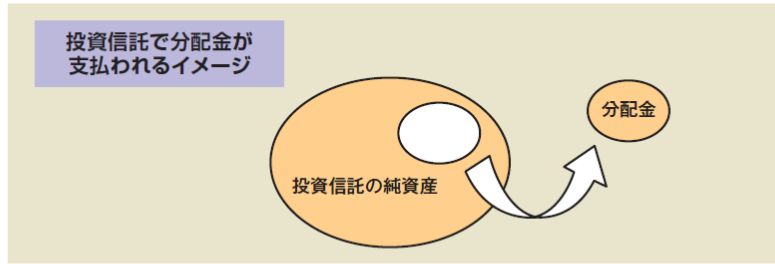
- ※上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- ※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- ※ファンドの基準価額は変動します。投資元本、利回りが保証されているものではありません。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

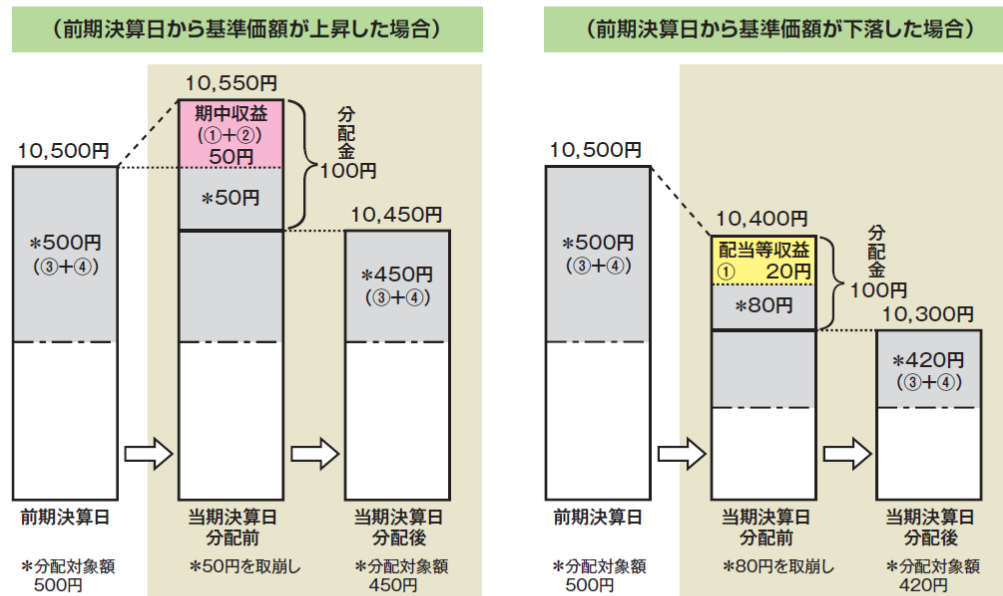
【収益分配金に関する留意事項】

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

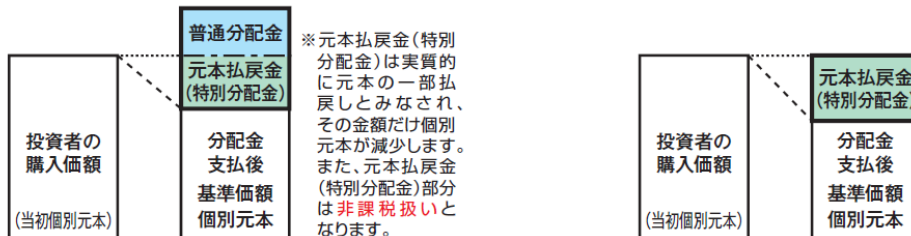


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり幅が小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金 … 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金 … 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ(特別分配金)減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

2. 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

〈主な変動要因〉

<p>株価の変動 (価格変動リスク・ 信用リスク)</p>	<p>株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。</p> <p>当ファンドは、一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があり、より多数の銘柄に分散投資した場合に比べて基準価額の変動が大きくなる可能性があります。</p> <p>新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。</p>
<p>為替変動リスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引対象通貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。特に、新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。 ・ 為替取引を活用して、取引対象通貨で実質的な運用を行なうことをめざしますが、投資対象資産の通貨である原資産通貨の為替変動リスクを完全に排除することはできません。また、一部の通貨について、為替取引を行わない場合があるため、原資産通貨の為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。 ・ 取引対象通貨の金利が原資産通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。 <p>※ 各ファンドの投資対象である外国投資信託において、NDF取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。</p>
<p>カントリー・リスク</p>	<p>投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。</p> <p>新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。</p>
<p>その他</p>	<p>解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。</p>

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

3. ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	販売会社が別に定めるものとします。 購入時の申込手数料の料率の上限は 3.24% (税抜 3.0%) です。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に対して 年率 1.2744% (税抜 1.18%) ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
(委託会社)	年率 0.35% (税抜)
(販売会社)	年率 0.80% (税抜)
(受託会社)	年率 0.03% (税抜)
	※左記の運用管理費用の配分には、別途消費税率を乗じた額がかかります。
投資対象とする投資信託証券	「豪ドル・コース」、「ブラジル・リアル・コース」年率 0.715%程度 「通貨セレクト・コース」年率 0.835%程度 この他に「ダイワ・プレミアム・トラスト・ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド」において、固定報酬として年額 12,500 米ドルがかかります。
実質的に負担する運用管理費用	「豪ドル・コース」、「ブラジル・リアル・コース」 年率 1.9894% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「通貨セレクト・コース」 年率 2.1094% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

4. ご参考

ファンド名	通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース (毎月分配型) / ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) / 通貨セレクト・コース (毎月分配型)
購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	① 当初申込期間 1 万口当たり 1 万円 ② 継続申込期間 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 (1 万口当たり)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 (1 万口当たり)
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 5 営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	① ニューヨークの銀行またはニューヨーク証券取引所のいずれかの休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 ※ただし、購入申込については、当ファンドの運営および受益者に与える影響を考慮して受け付けを行なうことがあります。 (注) 申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	午後 3 時まで (販売会社所定の事務手続きが完了したもの)

購入の申込期間	① 当初申込期間 平成 26 年 6 月 13 日から平成 26 年 6 月 26 日まで ② 継続申込期間 平成 26 年 6 月 27 日から平成 27 年 6 月 12 日まで (終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。)
設定日	平成 26 年 6 月 27 日
当初募集額	各ファンドについて 1,050 億円を上限とし、合計で 3,150 億円を上限とします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等)が発生した場合には、購入、換金の申込みの受付を中止すること、すでに受付けた購入の申込みを取消すことがあります。
スイッチング(乗換え)	「豪ドル・コース」、「ブラジル・リアル・コース」、「通貨セレクト・コース」の間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。
信託期間	平成 26 年 6 月 27 日から平成 31 年 9 月 19 日まで 受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます。
繰上償還	<ul style="list-style-type: none"> ●主要投資対象とする組入外国投資信託が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させます。 ●次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎月 19 日(休業日の場合翌営業日) (注) 第 1 計算期間は、平成 26 年 9 月 19 日(休業日の場合翌営業日)までとします。
収益分配	年 12 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取り扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
信託金の限度額	各ファンドについて 7,000 億円
公告	電子公告の方法により行ない、ホームページ[http://www.daiwa-am.co.jp/]に掲載します。
運用報告書	毎年 3 月および 9 月の計算期末に作成し、あらかじめお申出いただいたご住所にお届けします。 また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です(平成 26 年 1 月 1 日以降)。 なお、当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合がありますので、くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。
販売会社	大和証券
受託銀行	りそな銀行

5. その他

くわしくは、「有価証券届出書」をご覧ください。また、「投資信託説明書(交付目論見書)」公表後は当該交付目論見書も併せてご覧ください。

以上